

平成30年度事業報告



活動レポート

①福祉相談事業

子育て相談(自主事業)

活動の想い

直接の成果

悩みや困りごとを抱えた人が

【担当責任者】 法人事務局として実施

短期成果

必要な時に相談できる関係が

【活動概要】

子育て・女性問題に関わる内容について安心できる環境で相談者の気持ちに寄り添う傾聴を中心に、自己による課題解決へ向けての支援を行っています。必要により関係機関への紹介を行います。

長期成果

問題解決へ向け、自ら行動が
起こせるようになる。

【活動実績・得られた成果】

法人全体で行う困りごと相談業務として子育てについても対象とし

●残された課題・新たな課題

困ったときに気軽に相談できる場や機会、日頃からの関係づくり。

タイムケア事業(自主事業)

直接の成果

スタッフが生活の援助を始め

【実施回数】 263時間/年

短期成果

生活の連続性が保たれたり、
やりたいことができ始める。

【活動概要】

介護保険対象者および障害福祉サービス対象者に対し、制度のルール等の理由で対応できない部分に柔軟に対応する事業です。

長期成果

必要な時に支援や手助けを受
けながら自分らしい生活が継

【活動実績・得られた成果】

介護保険対象者及び障害福祉サービス対象者に対し、制度のルールなどで対応できない部分に柔軟に対応しています。高齢者では主に介護保険では対象にならない大掃除や草取り、水やり、移動支援を

分かち合い事業(自主事業)

直接の成果

住民スタッフが生活のお手伝

【実施回数】 24.3時間/年 ひるじろう委託182時間分/年

短期成果

生活の中の困り事が改善し始

【活動概要】

介護以外のちょっとしたお手伝いについて、住民同士の助け合いで柔軟に対応する事業です。

長期成果

必要な時に支援や手助けを受
けながら自分らしい生活が継

【活動実績・得られた成果】

掃除、草取りの他、ゆめじろうの建物・車両清掃・不燃物処理等を(ひ

●残された課題・新たな課題

活動会員の確保とコーディネート機能。

③相談ケアマネジメント事業

ゆめじろう居宅介護支援事業所

活動の想い

見慣れた風景や環境の中、その人らしい暮らしができることを応援してい

対象

町内在住(近隣町を含む)

直接(～1か月)の結果

生活や介護に関する困りごとや、暮らしにくさに対して、サービスの利用や暮らし方について相談で

短期(～3か月)の成果

問題解決のための取り組みや、サービス利用が始まる。相談内容に合った機関

中期(～1年)の成果

問題解決のための取り組みや、サービス利用が始まる。相談内容に合った機

長期(～3年)の成果

自分らしい生活が支援を受けながら継続し、ひとりではないと感じながら生

ゆめじろうのミッション

●83人／月平均 延べ996人／年間(居宅介護支援602人、予防316人、総合78人)

【担当責任者】 西川百合

【活動概要】

介護を必要とする方が、自宅で適切に介護保険サービス利用ができるように、心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に寄り添い、その人らしい生活ができるようにケアプランの作成やサービス調整を行います。暮らしにくさなどの相談の場合には、介護保険制度や他機関の案内や提案を行っています。

【2018年度活動目標】

他機関との関係を活かしながら、ケアマネそれぞれの知識や引き出しの数を増やしていく一年にしていきます。そのために研修に一つでも多く参加し、皆で共有できる環境を作っていきます。また、定期的に行われるケース検討会において個の課題・地域の課題を意識し考えていきます。

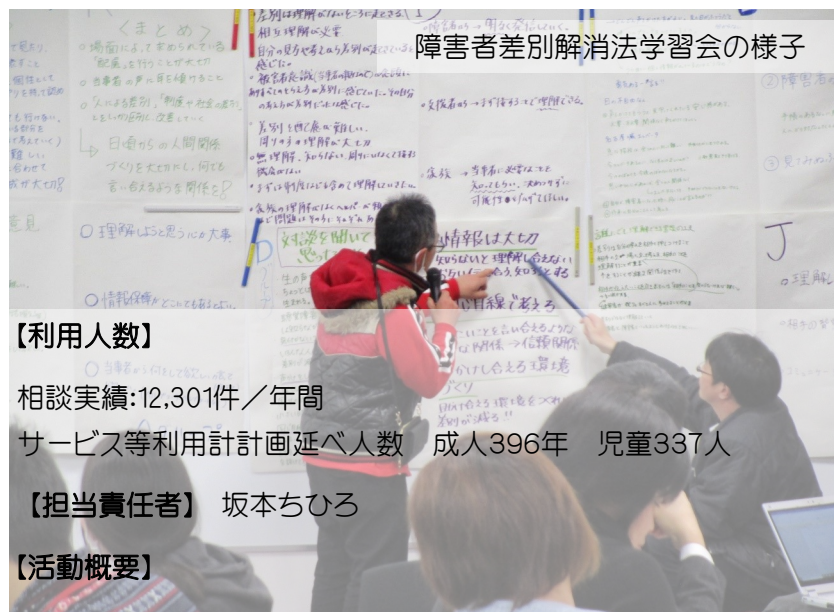
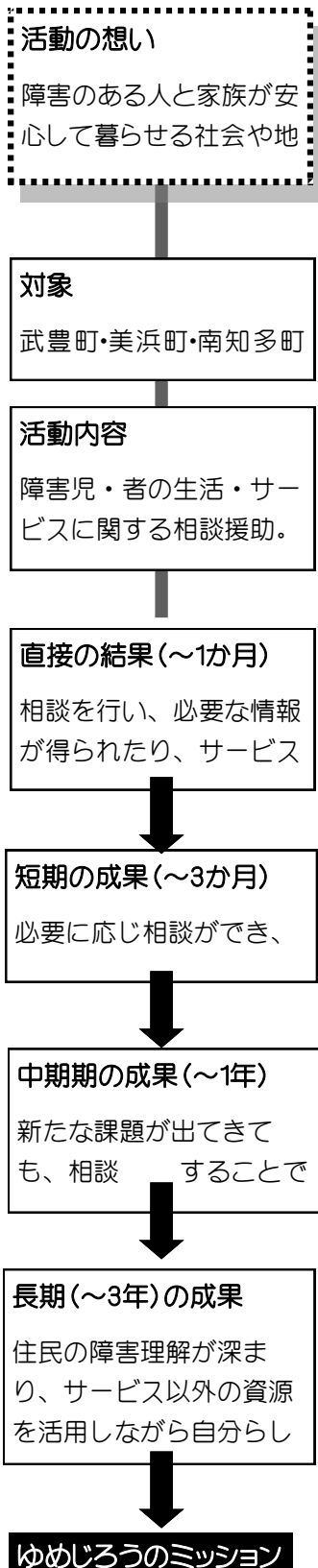
【活動内容・得られた成果】

保険者・地域包括支援センターからの先行サービス(退院に向けての調整や早急な対応が必要な方の調整)の依頼も多く、NPO法人として小回りが効き迅速な対応ができる事業所として役割を果たすことができました。また、医療との連携の大切さを再認識することで、利用者の入院時までの心身や生活状況の情報提供を行い、退院前の調整によりスムーズな在宅復帰を果たすことができ、事業所としても多くの加算を算定することができ、医療とのつながりを深めることで在宅時の連携強化につながりました。

高齢・障害の枠を外した定期的な事業内のケース検討会を通して、互いの制度理解を深め、障害分野の疾患の可能性について考察視点をもつことができ、必要機関への引継ぎもすることができました。

ゆめじろう相談支援事業所

(障害者総合支援法) 知多南部相談支援センター(委託)、一般相談支援事業、特定相談支



【利用人数】

相談実績:12,301件/年間

サービス等利用計画延べ人数 成人396年 児童337人

【担当責任者】 坂本ちひろ

【活動概要】

武豊町・美浜町・南知多町に住む障害がある人の生活に関わる相談を3町から委託を受け行っているほか、地域自立支援協議会の事務局を行っています。また、福祉サービス利用のための計画作成も行っています。

【2018年度の目標】

相談員一人一人のスキルアップをしながら、ニーズに丁寧に答えていく姿勢は貫いていけたらと思っています。人口が少ない知多南部だからこそ、当事者・家族の声を丁寧にききとり、ひとりひとりの声をしっかり届けていきます。知多南部地域自立支援協議会を有効活用し、サービス以外の社会資源開発も含めて地域の強みを最大限に生かしたしくみを作っていきます。

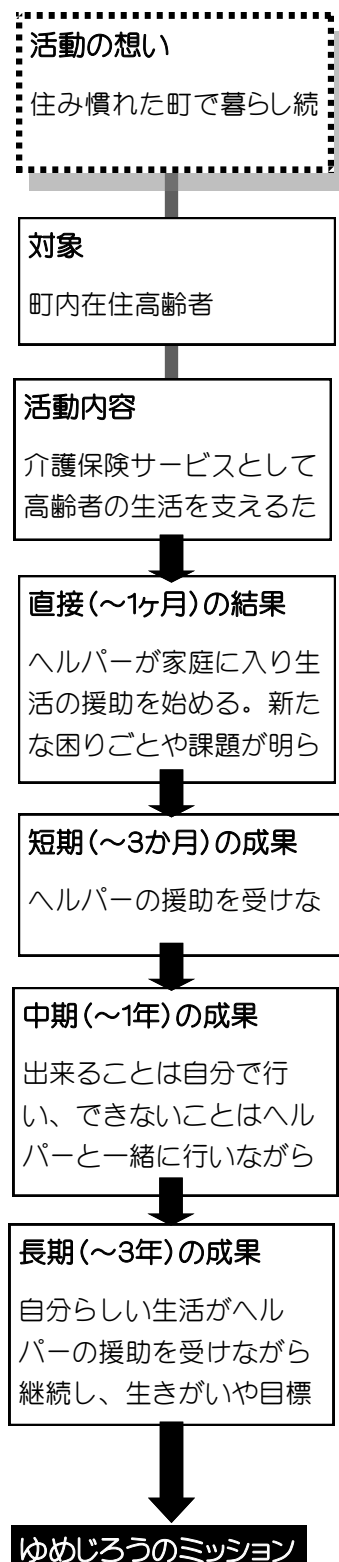
【活動実績・得られた成果】

限られた人数ではありましたが、相談件数の増加がありました。また、「みんなん」(美浜町の障害児を持つ親のサロン)や「肢体不自由児母サロン」等には積極的に参加し、ニーズの聞き取りをしていくことができました。そういった声を協議会につなげ、地域生活支援拠点整備計画への反映など、声を形にしていく取り組みも少しずつ実を結びつつあります。

得られた成果については、それぞれが無理をしながらの対応をし

④ホームヘルプ事業

ゆめじろう訪問介護事業所



ヘルパー勉強会の様子(介護方法)

【担当責任者】 出口佳江

【事業概要】

利用者さんの日常生活をお手伝いさせていただいています。住み慣れた自分の家(地域)で過ごしたいと言う利用者さんに寄り添い、生きていて良かったと思ってもらえる支援を心がけています。

【2018年度の目標】

訪問Aの受け入れ、外部研修を各自受講して持ち帰ってもらい、内部研修(サービス検討会)の充実を計画的に行う。

【活動実績・得られた成果】

介護:3206時間 訪問型独自サービス:866時間 訪問A:136.5時間

調理実習だけでなく身体介護について勉強会を行い、腰に負担のかからない介護技術を習得しました。身体介護の受け入れを行い、末期がん利用者・透析の利用者の受け入れ・送り出しの支援を行いました。

高齢者に関心のある学生ヘルパーさんにも支援に入ってもらいました。また高齢ヘルパーも障害者の支援に少しずつはいる事で障がい・高齢ヘルパー間の情報共有ができました。

ゆめじろう居宅介護等事業所

活動の想い

障害のある人の社会参加や挑戦を寄り添って応

対象

町内在住(近隣町を含む)

活動内容

自宅へヘルパーが訪問し、障害児・者の地域での生活を支えると同時に生活課題を明確にして課

直接の結果

ヘルパーが家庭で生活の支援をしたり、社会参加

短期(～3か月)の成果

ヘルパーが家庭で、日々の生活支援に加え、課題解決のための支援を受け

中期(～1年)の成果

継続した支援を受け続けていける。ヘルパーの支援を受けながら課題解決力・

長期(～3年)の成果

自ら課題解決に向かっていく力が付く。また、必要とする支援を発信でき

ゆめじろうのミッション



延べ704人／年間 延べ5244.5時間／年間

【担当責任者】 山田祐輔

【活動概要】

個人のニーズに合わせ、マンツーマン対応で障害のある方の日常生活・余暇活動を支援しています。

【2018年度活動目標】

生活を支える、余暇支援などの社会参加の手助けはもちろん、自己実現に向かっていけるような支援を行っていく。・定期的な人材確保と、ヘルパー1人当たり入れる利用者数を増やしていく。

【活動内容・得られた成果】

2018年度は、①「人材確保のためのPR活動」、②「余暇支援などの社会参加・自己実現に向かっていける支援」を目標にしてきました。①については、介護職員初任者研修や日福東海キャンパスに出向き、宣伝を行いました。結果、4名の学生ヘルパーを確保することができました。②については改めて支援の見直しを行い、必要以上にヘルパーが支援をするのではなく、ご用者がご自身でできることや、興味の幅などを広げられるような支援の工夫を行いました。ヘルパーを使って行った先を、利用者自身で記録を取ってもらい次の行き先を変えてみるなど、小さなことの積み重ねから始めることにより活動の幅が広がりました。

ひるじろう (生活介護)

活動の想い

どんなに重い障害があっても、その人らしい自己実現ができる活動や居

対象

町内在住 (近隣町を含む)

活動内容

重度障害者に対し、それぞれの能力や意向に応じ

直接の結果

送迎等の支援を受けながら自分のペースでひるじろうに通い、活動に参加

短期 (～3か月) の成果

活動に参加するうちに自分の強み弱みが分かってくる。得意な活動にはやり

中期 (～1年) の成果

得意な活動に磨きをかけ、やりがいを持って取り組めるだけでなく、息抜きもで

長期 (～3年) の成果

やりがいをもって行える活動を共に行う仲間ができひるじろうが大切な居場

ゆめじろうのミッション



さをりを長くお手伝いいただいたボランティアさんと

【利用定員】 10人 平均利用人数 10.0人/日 2455人/年

【担当責任者】 出口 晋

【活動概要】

町内及び近隣障害者に対し日中のつどいの場・活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現を支援する。

【2018年度活動目標】

高齢化していく家族の状況にも考慮しつつ休まず通える場、しっかりと受けとめられる場であると同時に、一人一人に合った活動を用意し、自分らしい自己実現を支援します。

【活動内容・得られた成果】

ご家族が高齢化していく中で、障害が重く行動障害のある利用者も含めて一年を通じて安定的に通っていただけたことができました。また、看護スタッフが充実したことで、利用者の健康面のサポートを充実することができました。活動面では、工賃の算定方式を改め実態に応じて工賃の分配を行い、モチベーションをもって作業に取り組めるルールとしました。試験的にピアホールを実施し、大人のサービスとしてお酒を飲む経験をする機会を持つことができました。

利用者が多様化しており、それに合わせた多様な活動が十分に行えていない現状があります。ボランティアの活用も含め検討が必要です。また、将来へ向けて宿泊体験のニーズがありますが、スタッフの

ひるじろう (就労継続支援B型)

活動の想い

障害のある人の「仕事がしたい」「社会の役に立ちたい」という思いを応援

対象

町内在住(近隣町を含む)の仕事をしたい障害者。仕事ができる可能性がある

活動内容

障害者に対し、仕事を通じて社会参加・社会貢献をする場の提供を行うと共に、

直接の結果

ひるじろうへ通い、コロッケ作り・販売、整備事業など自分に合った仕事

短期(～3か月)の成果

ひるじろうに慣れ、仕事をしながらの生活リズム

中期(～1年)の成果

お金に関心が持てるようになる。目標工賃1万5

長期(～3年)の成果

工賃だけでなく、仕事そのものにもやりがいや誇りが持てるようになる。

ゆめじろうのミッション



【利用定員】 10人 平均利用人数 7.8人/日 1916人/年

【担当責任者】 楯貫浩美

【活動概要】

町内及び近隣障害者に対し日中の活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現の支援を行う。

【2018年度の目標】

一人ひとりの得意なことを活かしたスキルアップと更なる工賃アップのため作業の効率化に努める。

【活動実績・得られた成果】

休日のコロッケカーの出店回数の減少と平日の売上が若干減ってはいるものの9月に値上げを行ったことや、ササミカツから胸肉を使用したチキンカツに変更し原価を下げるにより少しですが前年度を上回る工賃を支払うことができました。またコロッケの製造工程の見直しを行い、製造の効率化、より少ない人数で製造可能になり今後の売上増加にも対応可能な製造力がつきました。また今後新しい仕事を取り入れ利益を増やし工賃アップができる可能性も生まれました。

一人ひとりの特性に合った作業のスキルアップや洗車や草取りの作業の精度の向上が引き続き課題となっています。また家族よりの体

こじろう (放課後等デイサービス)

活動の想い

障害のある子どもたちの
地域の中で健やかな成

対象

活動内容

障害児の放課後と長期休
暇の活動と居場所の提

直接の結果

子：場所、人に慣れ落ち
着いて過ごすことができ
る。親：自分の時間が持
てることにより余裕がで

短期(～3か月)の成果

子：こじろうに行くこと
が楽しみになる。

中期(～1年)の成果

子：好き嫌いがはっきり
して自分から活動を選
択し参加できるようにな

長期(～3年)の成果

集団で過ごし、社会経験
を積み上げることにより必
要なルールが身に付きよ

ゆめじろうのミッション



【利用定員】 10人(登録者31人)平均利用人数 8.2人

延べ利用人数 1663人/年

【担当責任者】 榊原由起

【活動概要】

障害のある子どもたちが放課後や長期休暇を安全に楽しく過ごすための場所です。子どもたちが主体的に活動できることを目標にしています。

【2018年度の目標】

2018年度の夏休みから活動時間を9:30～15:30の時間帯で開催します。昼食時間を挟んだ6時間、どんな活動ができるか今から楽しみです。一方で、長期休暇の時間は延ばしたものの、平日についてはゆめじろうのスタッフ体制の事情により火～金曜日の週4日の営業とします。

【活動実績・得られた成果】

夏休みから学校休業日は6時間での開催としました。午前・昼食・午後と活動を大きく分けゆったりとした中にもしっかり活動ができました。6時間共に活動することや、一緒に「食」することで子どもたちのいつもとは違う顔を見ることができたのは大きな成果でした。12月には役場での「作品展」に参加し、それに向けて物づくりや絵を描いたりといった活動にも取り組みました。こどもたちの中には「またやり

⑥福祉移送ボランティア事業

【根拠事業】 自主事業 【担当責任者】 山本浩人

【事業概要】 必要やむを得ない場合の車による移送

【活動内容・事業実績】

高齢者・障害者など移動制約者に対し、緊急時等やむを得ない場合に限りゆめひろの車を使い無償で移送を行いました。

【活動内容】障害者の移動における緊急時（急な天候悪化、急な体調悪化、パニック時や発作時等）に運転手を出し、車での移動

⑦次世代育成事業（子育て支援事業）

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 瀧本智恵美

【事業概要】 託児等を会員同士の助け合いで実施する。

【活動内容・事業実績】

⑧高齢者障害者に対する社会参加促進事業

喫茶「ゆめひろば」

直接の成果

町民がゆめひろばを利用し、食事やお茶を飲みながら話を

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 鳥居久子

【事業概要】

食の安全を意識した手作りの食事、飲み物を提供しています。また、住民の交流の場として快適な場所作りを大切にしています。

【2018年度の目標】

不足するスタッフの確保を行い、安定して運営を行うとともに、年間を通じた会館イベントにも対応を行っていく。

【活動実績・得られた成果】 概ね週6日営業

新たに3名のスタッフの確保ができ、ここ何年間か抱えてきたスタッフ不足の状況が解消されました。材料費が高騰する中で、材料の確保やメニューの選定など工夫しながら行いました。また、会館のイベントへの対応もしっかり行うことができました。

長期成果

町民会館に、食事をしたりお茶を飲みながら仲間との交流



ゆめひろば ランチ

就労継続支援B

P12を参照 ひるじろうの活動の中で紹介。

フリースペース事業

【事業概要】

事業所のいろいろなスペースを利用して、地域の方が立ち寄ったり、ボランティアとして参加いただいたりする事業を提供しています。「こんな事ができるといいなあ。」や「こんなことで困っている。」「このくらいの手伝いはできるわよ。」などの声を大切にいろいろな活動を少しずつ行っている。

ゆめじろう茶屋 自主事業

活動の想い

地域で孤立することがないように住民同士のつながりを大切にする居場所

対象

活動内容

地域住民が気軽に集える場所と活動の提供をす

直接の結果

地域住民が日常的に茶屋

短期の成果

茶屋に集う者同士の交流が生まれ、新たな関係が

長期の成果

茶屋を活用して地域住民の支えあいの活動が展開

ゆめじろうのミッション

H31年度オレンジカフェの活動資金の助成をゆめサポートに申請しました。

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 小藤あけみ

【事業概要】

年齢・性別・国籍問わず気軽に参加しています。

情報交換や物々交換、新しいつながりなど「つどい・つながる」場所です。

【2018年度の目標】

30年度は、毎日開いている「ゆめじろう茶屋」を目指して新しい集まりを計画していきます。

また「オレンジカフェ」は、町の認知症支援のメンバーと一緒に運営方法を検討していきます。できるだけたくさんの方に来ていただける事をめざしていきます

地域の問題を地域の力で解決していくためには、地域の人が集まり気軽に話せる場所が必要です。「ゆめじろう茶屋」がその場所になる事をめざしていきます

【活動実績・得られた成果】

毎日開いている「ゆめじろう茶屋」を目指していましたが、担い手の問題もあり、火曜日の「おしゃべりサロン」、月曜日の「やっとう亀」、「オレンジカフェ」、土曜日の「お茶の日」「お花の日」の継続にとどまりました。

参加者は固定化してきていますが継続する事で参加者の介護予防に役立っています。またいろいろが課題を話すことができました。

今年度から茶屋を

⑨地域福祉啓発・研修事業

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 出口 晋

【事業概要】

高齢者福祉および障害者福祉にかかわらず地域福祉に関わる活動やイベント等を開催しています。毎年9月の第1土曜日に行っている夏祭り(平成28年度からは龍宮まつり)、日本福祉大学と協働で実施するサービスラーニング、武豊町との協働事業で始まったきのこプロジェクト、フードバンクちたの他、ゆめじろうくん(着ぐるみ)やコロケカーによる地域イベントへの参加など多岐に及びます。

たけのこプロジェクト (武豊町提案型協働事業)

活動の想い

心豊かな食の提供をして
子どもだけでなく孤食の

活動内容

- ①リーフレット作成
- ②子ども食堂に関する共同学習

直接の結果

子どもがイベントに参加
することで地域の子ども

短期の成果

富貴地区の子どもの
顔が見え、支援が必要な

長期の成果

地域の支援の必要な子ど

ゆめじろうのミッション

【根拠事業】 武豊町提案型協働事業

【担当責任者】 小藤あけみ

【事業概要】

富貴地区における食と子どもの居場所に関する調査と子ども食堂(イベント型)を志向実施し、居場所としての子ども食堂のニーズやあり方について調査をし把握を行う。

【2018年度の目標】

- ①子どもの居場所(子ども食堂)に関する共同学習
- ②食に関する子どもイベントの試行実施
- ③食に関するアンケート調査の実施
- ④事業周知及び協力者をえるためのリーフレットを作成する

【活動内容・得られた成果】

本事業を地域住民関係者の人たちと一緒に進めるため、事業を説明するリーフレットを作成しました。また、同時進行で子ども食堂に関する学習会を行い子ども食堂と子どもを取り巻く社会情勢について学ぶ機会を持ちました。学習会は年間3回実施し、教育委員や行政担当者他地域の人と一緒に学びつながりが持つ機会ともなりました。

食に関するイベントは夏休みに3回、秋に2回(内夜間1回)行い、毎回定員いっぱい参加があり盛況でした。

富貴小学校、富貴中学校の児童生徒、家族を対象に食に関するア

ゆめじろうくん・コロッケカーの出動(自主事業)



【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口 晋

【事業概要】

啓発活動の一環としてキッチンカーの出動やゆめじろうくんがイベントに参加したりしています。

【2018年度の目標】

コロッケカーマニュアルの作成と販売スタッフの拡大を行う。

【活動内容・得られた成果】

主なイベント

4月 富貴区・富貴市場区祭礼コロッケのふるまい

4月 長尾市場地区祭礼 (キッチンカー)

7月 大足地区祭礼 (コロッケのみ)

8月 旭硝子納涼祭(キッチンカー)

9月 富貴八幡社名月祭(キッチンカー)

10月 武豊ウォーカー(キッチンカー)

2月 教福寺豆まき

3月 福祉まつり

3月 富貴市場区祭礼(夜店)

ゆめたろうスマイルマラソン応援(自主事業)



【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口 晋

【事業概要】

平成25年度からは、「一緒に走ろう」という参加型の活動から転じ、「みんなであげよう」という町のイベントを地域住民と一緒に応援し盛り上げる活動を行っています。

【2018年度の目標】

今回で20回目を迎えるゆめたろうスマイルマラソン記念大会をこれまでも増して住民を巻き込んだ応援で盛り上げる。

【活動内容・得られた成果】

1キロ地点と4キロ地点を中心に応援団を置き、ランナーたちに声援をおくりました。市原地区を中心にこの日を楽しみに声援をおくってくれ

フードバンクプロジェクト（自主事業）

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口佳江

【事業概要】

セカンドハーベスト名古屋、サポート知多、日本福祉大学、常滑市社会福祉協議会と協力し、大規模ショッピングセンターや食品会社などからまだ食べられるのに捨てられてしまう食品をもらい受け、生活困窮者など必要としている人たちに届ける活動です。

【2018年度の目標】

様々な事情で食品を必要としている人に対し食材を手渡しで提供するとともに、支援団体であるセカンドハーベスト名古屋の活動維持のために少しでも多くの資金援助を行う。

【事業内容・得られた成果】

通年のセカンドハーベスト名古屋以外に、カーブスフードドライブから食品提供をいただきました。今年度より学習支援をうける児童生徒に対し食品の提供を始めたほか、今年度実施した子ども食堂イベン

食品を届けてくださったカーブスの皆さんと



サービ斯拉ーニング（日本福祉大学との協働事業）

【根拠事業】日本福祉大学との協働事業

【担当責任者】出口 晋、西川百合

【事業概要】

地域福祉サポートちたを通じて実施する日本福祉大学との協働事業。「フィールド実践演習」という科目の中で実施され、NPO法人の活動を通して実習することで、学生の「市民性」を育み、自らの意思をもって関わっていく力を養っていくことを目的にしています。

【2018年度の目標】

社会活動実践に加え、各種サービスで日本福祉大学学生の受け入れを行い、学びの機会を提供する。

【事業内容・得られた成果】



的あてゲームと学生

例年実施のNPOタイプ(4名)に加え、コミュニティタイプ(7名)の2種受け入れを行いました。NPOタイプはでは龍宮祭のゲームコーナーの企画を行いました。当日が雨天中止となっていました。コミュニティタイプではこじろうと子ども食堂でのイベント企画で活動を行いました。子ども食堂ではめんこ遊びを行い大盛況でした。その一方、こじろうでは、活動日当日に無断欠席をするものがでる

きのこプロジェクト（武豊町提案型協働事業➡自主事業）

【根拠事業】 自主事業（前：提案型協働事業）

【担当責任者】 出口 晋

【事業概要】



植栽の説明を受ける参加者

自然公園一帯の活性化活動

自然公園パトロール（重度障害者による）、マップ・案内版の作成、清掃活動、自然公園を使用したイベントを行う活動です。実施にあたっては町民からの協力金（一口500円）を募ります。

【2018年度の目標】

定期的な草刈りの実施と自然公園を会場に全世代が楽しめるイベントの開催をし、住民に自然公園の良さを知ってもらう。

【得られた成果・できたこと】

今年度は、武豊町からの助成金なしに活動を実施しました。

恒例のノルディックウォーキング中心の「イチョウウォーク」は、「自然公園を楽しもう！」という全世代が楽しめるイベントとし、自然公園のいろいろな楽しみ方の提案ができました。参加者は50人程度でしたが、ゆったりと自然公園を楽しんでもらうことができました。都市計画課とのコラボ企画の植栽体験の他、ハンモックガーデンやコリントゲーム、工作教室も実施し参加者からは大変好評でした。例年実施している、パトロール活動や草刈りなどの活動も変わらず実施することができました。

龍宮まつり

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口 晋

【事業概要】

盆踊りや運動会など地域のイベントがすくなってきた富貴地区において地域の人々が参加しつながらあえるお祭りの開催。

【2018年度の目標】

富貴地区の恒例行事として、昨年以上に地域の人を巻き込みお祭りを開催する。また、ゆめじろう前の道を車両通行止めにして出店スペースとし、石川医院駐車場のイベントスペースと会場の一体感を持たせた形で実施する。

【活動内容・得られた成果】

ゆめにてい

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】西川百合



ゆめ市バザーとお客さん

【事業概要】

昨今地域力の低下が言われる中、ゆめじろうが地域に中で果たす役割について話し合っています。プロジェクトとして始動する前には「困った人発見隊」という名で活動してきました。ゆめじろうを知ってもらい、困った時に相談できる場所や人とのつながりがあることで、少しでも安心して生活ができるのではないかと考え、手始めとして「市」を開くことにしました。

【2018年度の目標】

年2回の「ゆめ市」の開催により、地域住民がゆめじろうへ足を運ぶ機会を設け、活動の理解を深める。

地域住民との関わりの中、相談を受けたり、直接援助につながるような情報収集をし、個の問題の中から、地域課題を見いだしていく。

【活動内容・得られた成果】

予定通り年2回の開催ができ、多くの方がゆめじろうへ足を運んでいただく機会がもてました。また出店品の寄付や出店希望の若い世代の方からの声もあり、地域住民・利用者・家族・他事業所など世代や立場を超え興味の輪が広がり、少しずつ認知度も上がってきています。改めて活動の趣旨について明確にする必要もあると思った。反面、改まった場を設けるということではなく、

⑩短期介護事業（ショートステイ）事業

【根拠事業】自主事業・地域生活支援拠点（体験的宿泊・緊急一時的宿泊）

【事業概要】

地域で生活する障害者や介護の必要な高齢者等の宿泊支援

【2018年度の目標】

地域生活支援拠点事業の体験的宿泊及び緊急一時的宿泊の指定を受け事業を実施し、事業の必要性について、南部3町の自立支援協議会において報告を行い、実施事業所が増えるよう働きかけを行っていく。

【活動内容・得られた成果】

家族が不在時（夜勤）に家庭にスタッフが泊まりこみ支援を行いました。行動障害のあるケースについて緊急対応として支援を行いました。

本年度7月より地域生活支援拠点事業の体験的宿泊及び緊急一時的宿泊の指定をサンワコーポ

⑪障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

居住サポートいえじろう(共同生活援助)

活動の想い

障害のある人の親から
離れて暮らす挑戦を応援

対象

町内在住の障害者

活動内容

障害者のための家庭的
で社会とのつながりの

直接の結果

グループホームでの生
活を始めるとともに地域
行事への参加、ボラン

短期(～3か月)の成果

グループホームでの生
活に慣れ、地域の方やボ
ランティアの方との交流

中期(～1年)の成果

グループホームを利用
する日が増え、ボラン
ティアの方と一緒に過

長期(～3年)の成果

安定した生活をグループ
ホームで送る。地域の方
に存在を知ってもらう。ボ

ゆめじろうのミッション

お土産の肉まんが盛り上がるホームの皆さん

【根拠事業】共同生活援助 定員8人

【担当責任者】 安江真紀

【活動概要】

利用者さんが「ただいま」と安心して帰宅できるお家です。障がいのある方が地域の中で自分らしく生活が送られるようサポートしています。

【2018年度活動目標】

これまで活用していたサンワコーポ1階部分に加え2階部分についても活用することで定員の増加を行い、施設からの地域移行ケースの受け入れを行うとともにゆめじろう以外のサービスや就労している対象者についても受け入れを行い、地域に必要とされる開かれたグループホーム運営を行う。これに合わせて、地域生活支援拠点に求められる緊急一時的宿泊及び体験的宿泊に活用できる居室を3室に拡大する。

【活動内容・得られた成果】

2018年度は、定員を4名から8名へと変更をし、新規4名の受け入れを行いました。現在、新規の利用者さんもグループホームでの生活にも慣れ、利用日数も増えました。また、利用者さんと一緒に地区の行事に参加をすることで、地域での認知度も上がり、2019年度組長を依頼されました。

体験的宿泊に関しては、具体的な準備が進まず1名の受け入れしかできませんでした。

不足していたスタッフの確保については、地域の主婦層と日本福祉